

平成28年度

原町第一中学校 学校図書館支援活動記録

学校図書館支援員 木幡美賀

1 学校図書館の概要

学校の紹介

市内の中学校6校の内、生徒数が最も多い学校である。読書活動としては、毎朝15分間朝読書の時間を設けている。図書室は第一図書室と第二図書室があり、主に第一図書室を使用している。第二図書室は月に一度学級文庫の入替え時に開放している他、生徒達の学習の場としても利用されている。

平成28年度生徒数

1年	2年	3年	合計
100名	118名	98名	316名

(平成28年12月末時点)

学校派遣日 月・火・水曜日 週3回

図書担当教員 佐藤照美先生

学校図書館蔵書数(4月当初) 12,454点

学校図書館受入点数(3月末時点) 700点

うち 市費購入点数及び金額 474点(722,355円)

うち 寄贈資料点数 186点

うち PTA費購入点数 40点

2 平成28年度の課題及び目標

- 1-1 課題 主に知識の本で適切でない分類ラベルや除籍候補の本が棚に並んでいる。
- 1-2 課題 図書室の本を利用した後に分類とは違う場所に本を戻してしまう。また、目的の場にたどり着けない生徒がいる。
- 1-3 課題 倉庫状態になっている第二図書室の環境整備。
- 1-4 課題 授業での図書資料活用の向上。
- 1-5 課題 生徒の図書室利用の向上。

- 2-1 目標 図書ラベルの見直し・付与を行い、グリーンラベルへの統一を図る。
- 2-2 目標 本の貸出し方法や図書室利用時のマナー、分類についての説明を行うとともに分かりやすい見出しを作成し、生徒自身で目的の場所へ本を探しに行けるようにする。
- 2-3 目標 除籍作業を進めるとともに本棚の配置を全体的に見直し、利用しやすい環境を整える。
- 2-4 目標 授業内容と関連した本の展示や、授業等で利用する資料を図書館から提供出来るというのを周知するなど先生方と積極的に関わりを持つようにする。
- 2-5 目標 図書だよりの発行や委員会おすすめの本の紹介など、図書委員会と連携した活動ができるように委員会活動に参加する。

3 活動の方針

- ①昨年度に引き続き図書の整理を進め、生徒が本を手に取りやすい環境を整えていく。
- ②図書委員と連携しながら貸出につながる広報活動や企画展示の充実を図る。
- ③生徒たちが気軽に入ってこられるような親しみやすい場所を提供できるよう心がける。

学校図書館年間活動計画（スケジュール）

月別	蔵書管理・図書活用・読書指導	生徒図書委員会活動内容	市立図書館との連携
4月	・ 予算検討と管理の確認 ・ 担当教諭との打合せ ・ 企画展示 ・ 図書だより（新年度版）作成	・ 図書の貸出開始	・ 学校図書館支援員会議① ・ 図書の借用開始
5月	・ 企画展示 ・ 図書だより作成	・ 学級文庫入替	
6月	・ 企画展示 ・ 市費選書開始	・ 図書だより作成 ・ 学級文庫入替	・ 学校図書館支援員会議②
7月	・ 企画展示 ・ 市費発注・受入れ	・ 図書だより作成 ・ 学級文庫入替	・ ライブラリーレター配布
8月	・ 第二図書室の整備 ・ 図書だより作成		・ 学校図書館支援員会議③
9月		・ 学級文庫入替	・ 図書館を使用した調べ学習（1学年）
10月	・ 市費、寄贈分選書開始	・ 学級文庫入替 ・ 図書だより作成	
11月	・ 新刊受入れ、配架 ・ 読書企画実施 ・ 図書だより作成	・ 学級文庫入替	・ 学校図書館支援員会議④
12月	・ 冬休み特別貸出し開始	・ 学級文庫入替 ・ 図書だより作成	・ ライブラリーレター配布
1月		・ 学級文庫入替 ・ 図書だより作成	・ 学校図書館支援員会議⑤
2月		・ 学級文庫入替	・ 学校図書館支援員会議⑥
3月	・ 年間の貸出冊数集計、読書賞発表		

4 年間活動内容

1年間の主な活動記録

年間を通しての業務

- ・ 図書のラベル付与、フィルムコート装備
- ・ 雑誌の受入、装備
- ・ 新聞の受入
- ・ 図書の廃棄作業
- ・ 書架整理
- ・ 掲示物作成
- ・ 図書だよりの発行



図書委員作成。目を引くので、手に取って見ている姿が見られた。

<平成28年度の購入雑誌一覧> 19誌

（継続）・子供の科学 ・News がわかる ・Number ・ジュニアエラ ・月刊 Piano ・新聞ダイジェスト ・Cut ・ダ・ヴィンチ ・S-style ・バンドジャーナル ・イラストレーション ・ディズニーマガジン ・MOE
（新規）・きょうの料理ビギナーズ ・日経エンタメ ・バドミントンマガジン ・月刊陸上競技 ・Katsukura ・COTTON TIME



新規購読6誌

<平成28年度の購入新聞> 毎日新聞 1紙



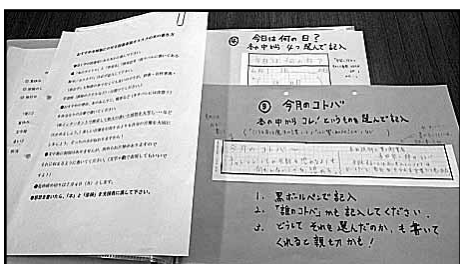
新聞コーナーを作成。
その時々話題になった記事を切り抜き、関連する本を展示した。
興味を持って手に取る生徒の姿が見られた。

4月

- ・担当教諭との打ち合わせを行った。今年度から図書室開放日を週3日から5日にすること、図書委員会作成の「図書だより」発行について、学級文庫の入替えを第二図書室の資料を中心に行うことについて話し合った。



昨年度までは第一図書室で入替を行っていたが人気本・シリーズ本に集中してしまう、貸出・返却に時間がかかる等の問題が発生した。そのため第二図書室内に学級文庫専用の棚を作り、そこから定められた冊数を選ぶことにした。

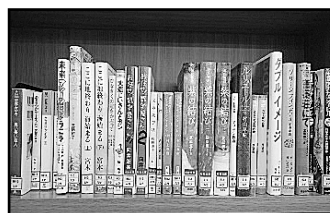


図書だよりを発行するにあたり、簡単なマニュアルを作成。あらかじめ枠を決め分割し、それぞれの担当者が記事を記入する。分かりやすいように書き方の例をつけた。

- ・企画展示「春が来た！」
- ・杉並文庫を各分類の棚に混ぜて配架。

5月

- ・企画展示「歴代本屋大賞受賞作品紹介」
- ・市費選書開始 課題図書購入。



「杉並文庫コーナー」をそれぞれの分類に混配することによって棚に余裕が出た。

6月

- ・企画展示「時代小説を読んでみよう！」
- 「中学生の勉強法！テスト対策」
- ・新刊購入の際の参考にするため、先生方と生徒にリクエスト用紙を配布。
- ・ぬり絵コーナーを作成。

リクエスト用紙に記入する生徒たち。



7～8月

- ・企画展示「夏が来た!」「読書感想文コーナー」
- ・夏休み特別貸出実施（7月12日から貸出開始1人3冊まで）
- ・新刊本の受入、配架
- ・「国語の教科書に紹介された本」コーナー作成



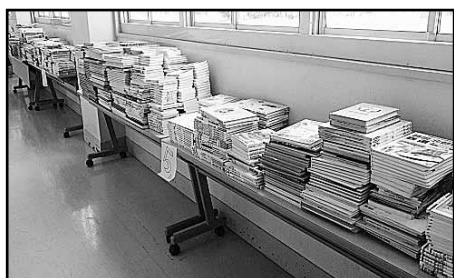
国語の教科書に紹介された本の一部を展示するコーナーを作成した。
何年生の本で紹介されたか、分かるようにしおりにして本に挟んでいる。

- ・見出し作成、書架整理を行った。



知識の棚に、見出しを作成した。
見出しがあることによって、棚の中でなんとなく並んでいた本の居場所がきちんと整理され、目的の本を探しやすくなった。

- ・第二図書室の配置換えを行った。



夏休み期間を利用して、先生方にご協力いただき第二図書室の大幅な配置換えを行った。
以前は本棚を壁際につけて配置していたが、今年度から第一図書室を参考に本棚を配置した。今年度に入り学習のために生徒が利用している時があるため、少しでも環境を整えることが出来た。引き続き廃棄作業は進める必要がある。

9月

- ・見出し作成
- ・1学年が中央図書館を利用した調べ学習を行った。9月13日(火)午前9時30分～11時30分(50名)・午後13時から14時30分(50名)に分かれて来館。2階研修室を利用した。事前に学習内容を教えて頂けたので資料を準備することが出来た。ノートパソコンを3台用意した。



<調べ学習の様子>

調べ学習のテーマは様々で、主に南相馬市に関わるものが多かった。
図書館について調べた生徒たちが「司書への質問」を用意し、インタビューを行う姿も見られた。

- ・企画展示「お月見 宇宙を感じよう！」
- ・後期図書委員会に参加し通常のカウンター業務の他の活動内容を説明。(図書だより作成についてと、図書委員がおすすめする本の紹介文の提出について)

10月

- ・図書の選書(寄贈分と今年度市費分)
- ・図書委員による図書だより作成
- ・企画展示「ドラマ化・映画化原作本特集」「秋の本」



企画展示

11月

- ・新刊の受入、配架作業
- ・11月の読書週間に合わせた企画を実施。11月7日(月)から11月30日(水)に本を2冊以上借りた生徒にブックカバーとしおりをプレゼントした。この期間は貸出冊数を1人3冊、貸出期間を2週間に延長。



ブックカバーを進呈。
人気の柄は競争率が高い。

12月

- ・図書委員による図書だより作成
- ・図書委員がおすすめする本のコーナーを作成
- ・企画展示「クリスマス」
- ・冬休み特別貸出開始(貸出冊数1人3冊 貸出期間12月12日～1月16日)
- ・本おみくじ作成



おすすめ本コーナーを
図書室前廊下に設置。



おみくじ設置

5 中央図書館からのサポート内容

- ・市図書費の選書アドバイス（本の分類確認）および発注処理
- ・学校図書館への貸出点数 233点/年

6 学校図書館利用実績

（1）年間貸出点数

① 個人貸出点数 (単位：点)

	1年	2年	3年	支援学級	総合計
年間合計	260	943	433	73	1,709
一人あたり	2.8	8.0	4.5	9.1	5.4
一人あたりの昨年度比	40%	242%	214%	—	29%

※1人2冊1週間の貸出

② 学級文庫貸出点数 (単位：点)

	1年 (4クラス)	2年 (4クラス)	3年 (3クラス)	総合計
学年合計	555	555	255	1,365

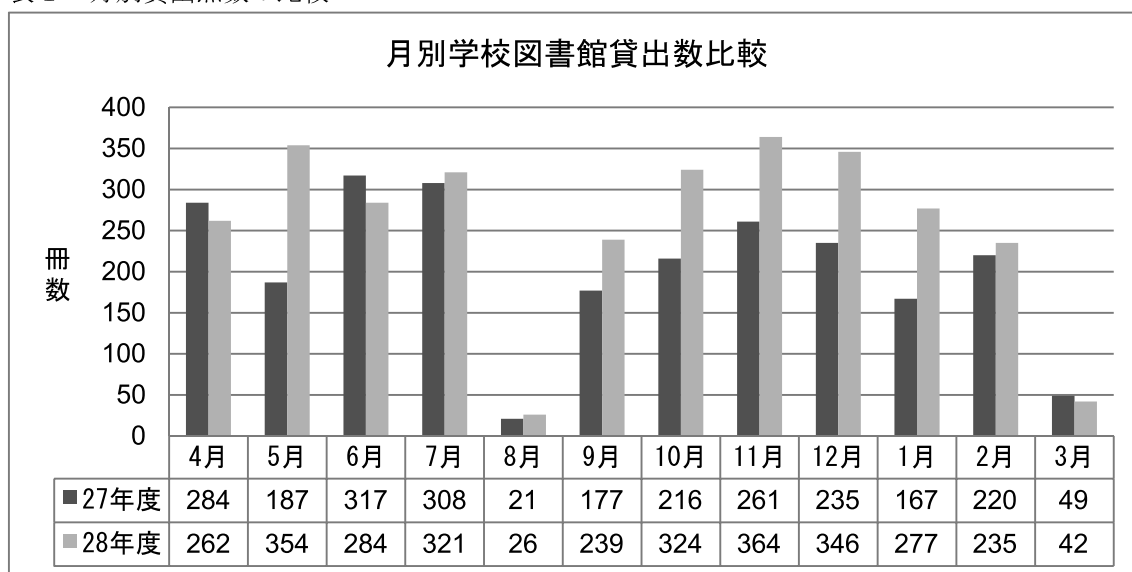
※毎月交換、1月15冊まで。

③ 調べ学習等貸出点数

※中央図書館からの借用資料のみで対応

（2）学校図書館利用実績比較

表1 月別貸出点数の比較



昨年度貸出が多かった学年が、引き続き年度初めから借りに来たので、図書室の利用が4月から活発に行われた。毎年、2学期になると文化祭や試験などで忙しく、貸出が鈍る傾向があるもの

の、新刊を購入した時期や読書週間企画を行った時期に生徒たちの動きが活発になっている。新刊は学期ごとにまとめて購入するよりも、月ごとにこまめに購入した方が生徒の反応が良いと感じた。

学年によって、図書室利用や貸出に差がみられるので、あまり図書室を利用しない学年に来てもらう方法を考える必要がある。

7 本年度の成果及び来年度に向けた課題

(1) 本年度の成果

- 3-1 9類（文学）のラベルの見直しや、フィルムコート装備はほぼ達成できた。
- 3-2 本の貸出時のマナーや利用方法は年度初めに図書室利用案内を作成し、全生徒に配布した。また、書架に見出しを作成したことで本の置き場所が明確になり目的の本を探しやすくなった。
- 3-3 棚を第一図書室と同様に配置し、全て使用出来るようにした。学級文庫の入替えを今年度から第二図書室で行うなど利用の幅が広がっている。
- 3-4 月ごとの本の展示や読書週間に合わせた企画の実施など生徒たちの興味を引くような展示や居心地の良い場を提供するよう心がけた。
- 3-5 今年度から委員会活動に参加（前期・後期共に初めの1回）させて頂く機会があったので、図書委員と共に作業することが出来た。月曜日～金曜日までカウンター作業、委員会作成の図書だよりの発行、図書委員おすすめ本の紹介など昨年度に比べると活動が活発になった。

(2) 来年度に向けた課題

- 4-1 知識のグリーンラベルへの統一、装備は来年度も引き続き行うべきである。
- 4-2 直接生徒の前で利用案内をする機会がなく、分類についての説明ができなかったため請求記号を理解していない生徒が多く見られた。迷っている生徒を見かけたら声かけをするなど個別に対応はしていたが、より分かりやすい書架サインを考える必要があると感じた。
- 4-3 今年度、先生方の協力のもと第二図書室の整備が進んだ。除籍作業は引き続き行うべきである。
- 4-4 季節に即した本の展示や、新聞を切り抜き関連する本を展示するなど、テーマを決めて行うことができた。
しかし、目標にしていた先生方への図書室利用案内を配布することができなかったため新しく着任された先生方に周知することができなかった。来年度以降の課題である。
- 4-5 昨年度に比べ、図書委員会の活動の幅が広がった。来年度以降も引き続き連携した活動を行いたい。